



第6章 地域が育て地域が守る 教育と文化のまちづくり

第1節 心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育

第1項 小・中学校教育の充実

現状と課題

子どもを取り巻く社会環境が変化するなかで、学力の基礎・基本の定着と幅広い問題に対応できる能力を育成し、心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育が求められています。

また、地域と連携した安全・安心な学校づくり、各学校の創意工夫による特色ある学校づくりを一層推進することが重要な課題となっています。

さらに、教育施設、設備については、老朽化に伴う整備、更新を図るとともに、教育内容に応じ充実する必要があります。

施策項目・施策内容

(1) 学校経営内容の充実

- ・個に応じた指導を通して、学力の基礎・基本の定着を図ります。
- ・各学校に応じた学校教育目標の具現化を図るための特色ある教育を推進します。
- ・一人ひとりの個性や能力を伸ばし、自ら学び、自ら考える「生きる力」を育成します。
- ・高度情報化に対応した情報活用能力を身につけるための情報教育を推進します。
- ・異文化理解の向上を図るため、児童生徒の国際教育を推進します。
- ・障害のある児童生徒への理解を深め、自立と社会参加を図るため、就学指導や教育相談を綿密に行い、一人ひとりに応じた教育内容を充実します。
- ・地域との連携を強化し、学校評議員制度等の活用を図り地域に開かれた学校づくりを推進します。

(2) 心の教育の充実

- ・学校、地域、行政が連携し、発達段階に応じた生活体験を通して他人を思いやる心豊かな人間性を育てる教育を推進します。
- ・いじめや不登校等の相談体制を充実するとともに、中間教室の運営等により児童生徒の自立に向けた支援に努めます。

(3) 教育環境の整備

- ・児童生徒数の推移に合わせ、小・中学校の規模の適正化について検討します。

- ・老朽化に伴う校舎等の改修や耐震補強を計画的に行います。
- ・総合的な学習や情報教育など、多様化する教育内容に応じた施設、設備の充実に努めます。

(4) 安全の確保

- ・児童生徒に防犯ブザーを配布するなど、登下校時等の安全確保を図ります。
- ・通学路のパトロール、登下校時の見守り・声かけなど地域ボランティアによる安全対策を促進します。
- ・家庭、地域、学校、関係機関と連携し、防犯・防災等の連絡体制の充実に努めます。

(5) 学校保健体育の充実

- ・健康診断、健康管理、保健指導を充実し、児童生徒の健やかな育成に努めます。

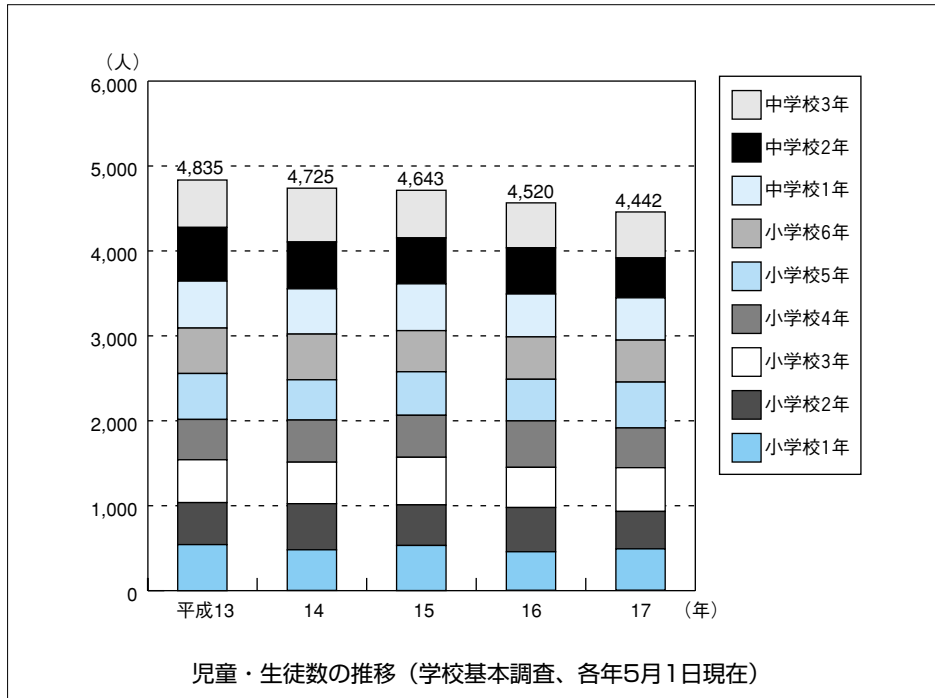
(6) 学校給食の充実

- ・地元産食材を使った特色ある献立づくりに努めます。
- ・栄養バランスや衛生面、安全面に配慮した学校給食の一層の充実に努めるとともに、給食指導を通して正しい食習慣の形成に努めます。
- ・学校給食センター調理業務の民間委託に向け検討します。

(7) 教職員研修の充実

- ・教職員の能力開発、指導力の向上をめざした、自主的、自発的な研修を促進します。

指 標	算出方法等	基準年	現状値	平成23年目標値	備 考
学校図書室の一人当たり貸し出し冊数	学校図書室の年間貸し出し冊数÷児童生徒数	平成17年	39.7冊	50冊	
小学校不登校児童の割合	不登校（30日以上欠席している）児童の全児童に対する比率	平成17年	0.4%	0.3%	
中学校不登校生徒の割合	不登校（30日以上欠席している）生徒の全生徒に対する比率	平成17年	3.9%	3.0%	
小中学校校舎・体育館の耐震化整備率	整備済棟数÷総棟数	平成17年	78.6%	100%	



第2項 高等学校以上の教育の振興

現状と課題

生徒数の減少や生徒を取り巻く社会環境が大きく変化する中で、地域に愛され地域とともに歩む特色ある高等学校づくりが求められています。

そのため、地域、学校、行政が一体となった高等学校教育の振興を促進します。

(1) 地域の高等学校教育の振興

- ・市内の高等学校と協働し、魅力ある高校づくりを促進します。
- ・新設高校との連携を図ります。
- ・中学校と高等学校との連携を深める連絡調整機能の充実に努めます。

(2) 就学の奨励

- ・奨学金や奨学基金により、次代を担う優秀で意欲のある人材の育成を奨励します。

第2節 学びふれあう社会教育・生涯学習

第1項 生涯学習機会の提供

現状と課題

社会経済状況の変化に伴い、ライフスタイル・意識も多様化し、学習への関心が高まる中、多様なニーズに対応した講座の充実や、価値観の異なる市民やグループが協働し、豊かな地域づくりを進めることが求められています。

そのため、市民一人ひとりが、自由に学び楽しむ環境づくりと、学習機会の充実を図ることが必要です。

施策項目・施策内容

(1) 生涯学習まちづくりの推進

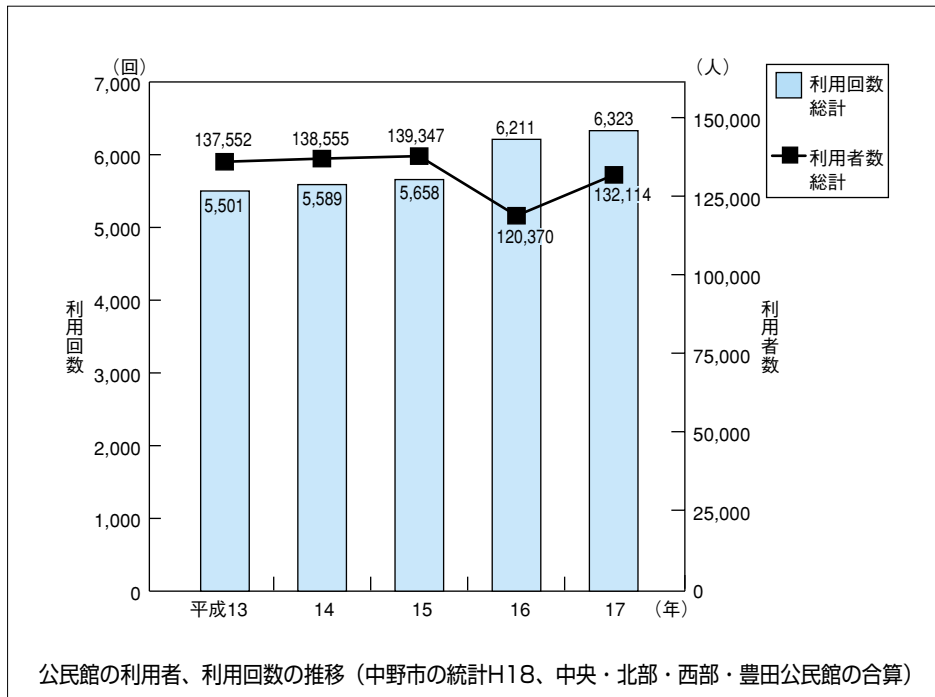
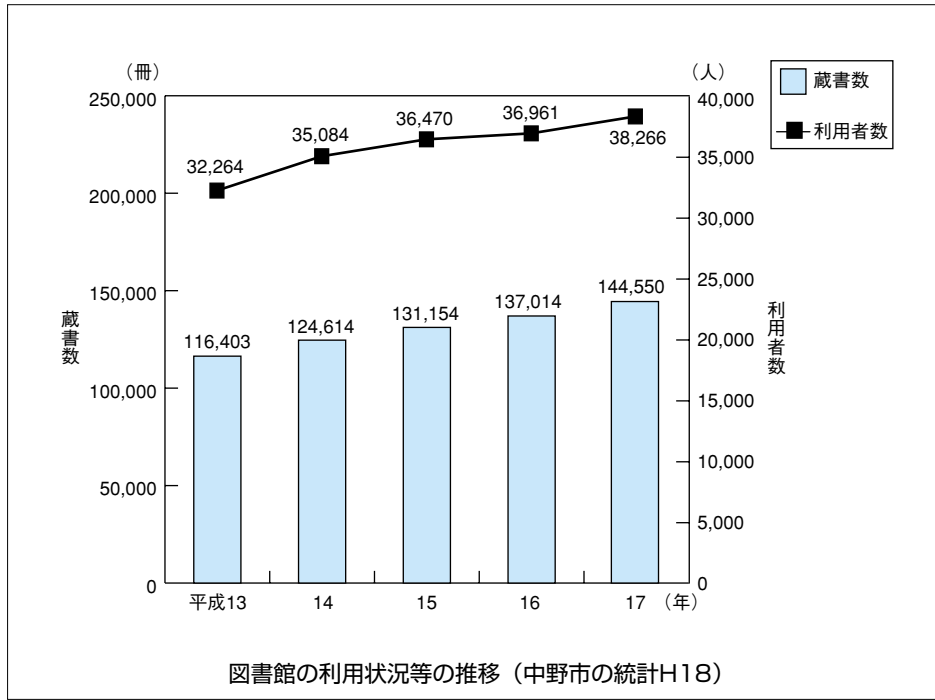
- ・ 県生涯学習推進センターや他市町村との情報ネットワークを活用し、幅広い学習情報の収集・提供に努めます。
- ・ 公民館、図書館等での各種学習、体験活動、ボランティア活動や「まなびい塾」の出前講座等の充実に努めます。
- ・ 公民館と各分館との密接な連携を進め、地域課題を踏まえた公民館活動の充実に努めます。
- ・ 生涯学習推進関係団体が行う自主活動を支援し、組織の育成を図ります。

(2) 生涯学習の総合的な推進

- ・ 生涯学習基本構想を策定し、生涯学習を総合的に推進します。

指標	算出方法等	基準年	現状値	平成23年目標値	備考
公民館講座受講者数		平成17年	20,560人	22,000人	
まなびい塾講師派遣講座受講者数		平成17年	285人	310人	
市立図書館の市民一人当たり貸出冊数	市立図書館の年間貸出冊数÷総人口	平成17年	3.8冊	4.5冊	





第2項 生涯学習施設の充実

市民の学習活動を支える役割を担っている公民館、図書館、歴史民俗資料館等の生涯学習施設には、市民の多様化・高度化する学習ニーズに対応した設備や施設の充実が求められています。

そのため、公民館、図書館等の生涯学習施設の充実が必要です。

施策項目・施策内容

(1) 生涯学習施設の充実

- ・ 利用者の利便性の向上を図るため、公民館等施設の充実に努めます。
- ・ 「中野市子ども読書活動推進計画」に基づき、図書館等施設の充実に努めます。

指標

指標	算出方法等	基準年	現状値	平成23年目標値	備考
図書館蔵書数	図書館情報データベースシステムに登録された蔵書数	平成17年	168,878冊	222,000冊	
豊田文化センターホール稼働率	年間使用日数÷開館日数(361日)	平成17年	45.7%	50%	



第3節 地域の歴史・文化の保存と活用

第1項 文化財の保存と活用

現状と課題

先人が築き、守り、伝えてきた文化や歴史、自然は、新たな市民文化創造の基礎として、後世に伝えていく必要があります。しかし、社会の多様な変化に伴い、文化・歴史的遺産や自然は失われつつあります。

そのため、貴重な文化・歴史的遺産や自然の保護・保存に努めるとともに、その啓発と活用が必要です。

施策項目・施策内容

(1) 文化財の保護

- ・文化財の基礎調査を進め、貴重な文化・歴史的遺産や自然の保護・保存を図ります。
- ・指定文化財等の保存・整備・活用に努めます。

(2) 文化財の活用

- ・広報誌、ビデオなどにより、文化財の意義や重要性の啓発に努め、その活用を図ります。
- ・歴史民俗資料館の資料の充実、施設の整備に努めます。

指 標	算出方法等	基準年	現状値	平成23年目標値	備 考
指定文化財数	文化財保護条例に基づき指定した文化財数	平成17年	65件	66件	



国指定

平成19年3月末日現在

種別	指定年月日	名称	所有者	所在地	備考
天然記念物 史跡	昭和28年11月14日 平成19年2月6日	十三重のチョウゲンボウ繁殖地 高梨氏館跡	個人 中野市	大字深沢字前屋敷添51-2ほか 小館1069-1ほか	

県指定

種別	指定年月日	名称	所有者	所在地	備考
史跡	昭和35年2月11日	栗林遺跡	中野市ほか	大字栗林字北原438-1ほか	
史跡	昭和39年11月26日	中野県庁跡(中野陣屋跡)	中野市ほか	中央二丁目829	
史跡	昭和44年7月3日	高梨氏城跡(山城)	中野市ほか	大字中野字大平山3129ほか	
県宝	昭和52年11月17日	鉦鼓(重要美術品)	中野市	中野市歴史民俗資料館	1個
史跡	昭和60年7月29日	七瀬双子塚古墳	七瀬区	大字七瀬字南原1061	1基
史跡	平成9年8月14日	内堀館跡	個人	大字上今井字南山根632-1ほか	
史跡	平成17年3月28日	高遠山古墳	中野市	大字新野字菰山1115-1ほか	1基
天然記念物	平成19年1月11日	八生のカヤ	個人	大字桜沢字大進1249	1本

市指定

種別	指定年月日	名称	所有者	所在地	備考
有形文化財 史跡	昭和47年7月27日	弥生式土器	個人	中野市歴史民俗資料館	注口形土器1個、土器1個
有形文化財 無形民俗文化財	昭和47年8月28日	七ツ鉢	高杜神社	大字赤岩字大道上1184-2ほか	1基
有形文化財 無形民俗文化財	昭和47年12月25日	小内八幡神社青獅子	小内八幡神社芸能保存会	大字安源寺	
有形文化財 無形民俗文化財	昭和47年12月25日	日和山神社鬼獅子	日和山神社芸能保存会	大字草間	
有形文化財 無形民俗文化財	昭和48年8月22日	上今井諏訪社太々神楽	上今井諏訪社太々神楽保存会	大字上今井	県選択無形民俗文化財
有形文化財	昭和51年4月1日	屋台(囃子を含む)	上今井諏訪社氏子総代	大字上今井字山根2685上今井諏訪社	
有形文化財	昭和53年3月23日	社家片山文書	個人	大字安源寺字石原566-イ-1	1巻及び1通
史跡	昭和54年10月23日	蟹沢古墳	個人	大字桜沢字蟹沢1549-1ほか	1基
史跡	昭和57年11月1日	替佐城跡	武運濃神社氏子総代	大字豊津字城山842ほか	
天然記念物	昭和57年11月1日	永江諏訪神社巨樹	永江諏訪神社氏子総代	大字永江字小山229ほか	杉4本
有形民俗文化財	昭和58年4月28日	七瀬の五輪塔	七瀬区	大字七瀬字棚畑842	1基
史跡	昭和58年4月28日	林群1号古墳	中野市	大字田麦字林群952-3	1基
史跡	昭和58年4月28日	山の神古墳	個人	大字厚貝字赤畑480	1基
天然記念物	昭和58年4月28日	柳沢のマユミ	個人	大字柳沢字屋敷添452	1本
無形民俗文化財	昭和59年5月29日	赤岩の宣燈踊り	高社講	大字赤岩字馬場東625-口	
天然記念物	昭和59年5月29日	柳沢のエドヒガン	日高見神社	大字柳沢字滝ノ沢1726-7	1本
史跡	昭和59年5月29日	建応寺跡	個人	大字間山字建応1823ほか	
有形文化財	昭和60年4月26日	中野小学校旧西校舎	中野市	大字一本木字大田479-5	1棟
史跡	昭和60年4月26日	金鑑山古墳	松山寺	大字新野字金鑑山1217	1基
天然記念物	昭和60年4月26日	如法寺のイチョウ	如法寺	大字中野字如法寺1154	1本
天然記念物	昭和60年4月26日	壁田城山のイヌザクラ	長丘神社	大字壁田字横手2576-2	1本
有形文化財	昭和61年5月1日	金井の延宝水論裁許状	金井区	大字金井字河島1083-2	1通
有形文化財	昭和61年5月1日	ナウマン象の臼歯	中野市	中野市歴史民俗資料館	2個
有形文化財	昭和62年6月3日	算額	観音寺	大字田上字笠原嶽834(長福寺)	2面
有形民俗文化財	昭和62年6月3日	間山の双立道祖神像	間山区丸山組・岸梨組	大字間山字十二436-1	1基
天然記念物	昭和62年6月3日	新保豊田神社のクスギ	新保豊田神社	大字新保字西屋敷476-1	1本
有形文化財	昭和63年6月1日	撰文鏡(ねじもんきょう)	高井舟着神社	大字更科字北越巻288	1面
有形文化財	昭和63年6月1日	高札	北大熊区	大字三ツ字和字前田1747	9面
無形民俗文化財	昭和63年6月1日	餅かえ行事	小沼区	大字三ツ和	
有形文化財	平成元年5月31日	土偶	中野市	中野市歴史民俗資料館	1体
有形文化財	平成4年4月30日	小内八幡神社本殿	小内八幡神社	大字安源寺字石原572-1	1棟
無形民俗文化財	平成4年4月30日	赤岩の太々神楽	高社講	大字赤岩字馬場東625-口	
無形民俗文化財	平成5年4月30日	新野の式三番叟	式三番保存会	大字新野	
天然記念物	平成5年4月30日	小内八幡神社社叢	小内八幡神社	大字安源寺字石原572-1ほか	
有形文化財	平成5年4月30日	常楽寺文書	常楽寺	大字中野字寺西2132	2通
有形文化財	平成7年5月1日	西条村新田開発免許状	個人	大字西条字北西間421	1通
有形文化財	平成7年5月1日	常楽寺本堂の欄間	常楽寺	大字中野字寺西2132	9面
有形文化財	平成9年6月3日	間長瀬新田年貢・諸役免許状	個人	大字間長瀬字北原430	1通
無形民俗文化財	平成9年6月3日	松川の川崎踊り	松川川崎踊り保存会	大字中野	
有形文化財	平成11年5月7日	栗林村大久保新田開発免許状	個人	大字栗林字西原314	1通
無形民俗文化財	平成11年5月7日	大俣の水神祭	大俣区	大字大俣	
有形文化財	平成11年9月28日	天王神興	東町区	諏訪町4-20王日神社	1基
有形文化財	平成11年9月28日	高井大富神社の俳額	大俣区	大字大俣字宮反549高井大富神社	1額
有形文化財	平成12年1月4日	上今井諏訪社本殿	上今井諏訪社氏子総代	大字上今井字山根2685上今井諏訪社	1棟
有形文化財	平成14年3月1日	埋納銭及び埋納銭容器	中野市ほか	中野市歴史民俗資料館ほか	一式及び4箇
有形文化財	平成14年3月1日	中野町製糸場水車機械略図	中野市	中野市歴史民俗資料館	1幅
有形文化財	平成14年3月1日	高遠山古墳出土遺物	中野市	中野市歴史民俗資料館	一式
有形文化財	平成14年3月1日	如法寺観音堂	如法寺	大字中野字観音平1202-1	1棟
有形文化財	平成14年3月1日	如法寺弘法堂	如法寺	大字中野字観音平1202-1	1棟
天然記念物	平成14年3月1日	高井大富神社の工ノキ	大俣区	大字大俣字宮反549	1本
有形文化財	平成15年3月31日	大草稲荷	西江部区	大字江部字下道1433-1	1基
有形文化財	平成15年3月31日	山田松齋資料一括	個人	中野市歴史民俗資料館	一式
有形文化財	平成16年3月31日	綿貫家文書一括	個人	中野市立図書館	一式
天然記念物	平成16年3月31日	盛隆寺のイチイ	盛隆寺	大字間山字川端342	1本
無形文化財	平成17年1月28日	中野土人形(中野人形)	奈良久雄(工芸技術保持者)	大字一本木	1名
有形文化財	平成17年1月28日	白井家文書一括	個人	中央二丁目3-4	一式

資料:生涯学習課

第4節 文化芸術の振興

第1項 文化芸術活動の支援

現状と課題

公民館、働く婦人の家等では多くの講座や学級が開かれ、市民が学んだり創作活動をしています。

また、音楽団体連盟や文化芸術協会の各種サークル、各地区の伝統芸能及び公民館分館事業など文化芸術活動が活発に行われ、市民の文化芸術活動への気運が高まっています。

文化芸術活動に子どもからお年寄りまで誰もが参加できる環境づくりと、担い手の育成、発表や研修及び交流の機会の確保が必要です。

施策項目・施策内容

(1) 文化芸術振興のための条例の制定

- ・文化芸術振興のための条例を定め、文化芸術施策を総合的に推進します。

(2) 文化芸術振興のための基本方針の策定

- ・文化芸術振興のための基本方針を定め、文化芸術施策を計画的に推進します。

(3) 文化芸術振興のための組織の設立・支援

- ・文化芸術活動を振興するため、文化芸術振興事業団（仮称）の設立・支援を行います。
- ・優れた文化芸術に触れる機会を提供するとともに、市民の自主的な文化芸術活動を支援します。

(4) 文化行政推進のための組織体制の充実

- ・文化芸術振興施策を総合的に推進するための組織体制の充実を図ります。



第2項 文化施設の整備

現状と課題

市民の文化芸術活動への気運が高まるなか、市民の活動の発表の場や、見て、触れて、体験できる機会が求められています。

また、市民が自主的に活動し、相互理解を深め、より活発な文化芸術活動を推進するための拠点施設の役割が重要となっています。

そのため、既存施設の有効活用を図るとともに、新たな施設の整備等について検討が必要となっています。

施策項目・施策内容

(1) 既存施設の有効活用

- ・文化施設の適切な運営に努めます。
- ・多岐にわたる公共施設を、文化芸術活動のために有効な利活用を図ります。

(2) 新たな文化施設の整備

- ・多様なニーズに対応するため、新たな文化施設を整備します。

第5節 豊かな人間性を育むスポーツの振興

第1項 スポーツ・レクリエーションの振興

現状と課題

自由時間の増大や健康志向の広がりなどに伴い、より豊かな人間らしい生活を模索する中、スポーツに対する要求も多様化してきています。

多くの市民が生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを楽しめるよう、各種の教室や大会を開催するとともに、こうした活動に適切な指導、助言ができる専門的知識や技術を備えた指導者の養成、確保並びに各種スポーツ情報の収集、提供に努めていく必要があります。

また、市民の主体的なスポーツ活動が活発に展開されるためには、各スポーツ団体による積極的な活動が期待されます。

施策項目・施策内容

(1) スポーツ活動の推進

- ・市民のスポーツに対する関心を高め、市民みなスポーツの実現に努めます。
- ・各体育団体との連携のもと、各種競技大会を開催します。

(2) スポーツ・レクリエーションの普及振興

- ・各種スポーツ教室を開催し、生涯を通じてスポーツ・レクリエーションが楽しめる環境づくりに努めます。
- ・各体育団体と協力し、専門的知識や技術を備えた指導者の養成、確保に努めます。
- ・スポーツの競技力向上のため、スポーツ少年団、体育協会等スポーツ団体の活動を支援します。
- ・明るく健康で豊かな地域コミュニティづくりのため、各地域に根づいたスポーツ活動の推進に努めます。

指 標	算出方法等	基準年	現状値	平成23年目標値	備 考
体育協会構成人数		平成17年	3,596人	3,600人	
スポーツ少年団登録団員数		平成17年	375人	380人	

第2項 社会体育施設の整備・充実

現状と課題

本市は、これまで各体育施設整備のほか学校体育施設の開放等を進めてきましたが、より多様化、高度化する要望に対応した施設や設備が求められています。

そのため、要望に対応した、安全に使用できる施設の整備や充実を図ることが必要です。

施策項目・施策内容

(1) スポーツ施設の整備・充実

- ・スポーツの振興のため、体育施設の整備・充実に努めます。

(2) 学校開放事業の推進

- ・身近にスポーツを楽しむため、学校開放事業の一層の推進に努めます。

指標

指標	算出方法等	基準年	現状値	平成23年目標値	備考
施設利用延人数		平成17年	156,159人	162,000人	
学校開放事業利用延人数		平成17年	62,951人	65,000人	



